



ゲンダイエージェンシー株式会社

GENDAI AGENCY Inc.

2025年10月17日

2026年3月期第2四半期(中間期)決算説明資料

2026年3月期 第2四半期決算のポイント

- ◆ 新経営陣体制による各種施策が奏功し、各段階利益は前年を大きく上回り推移
- ◆ インターネット広告が大きく伸張
- ◆ 折込広告等の紙媒体広告の需要は引き続き減少
- ✓ 通期連結業績予想を上方修正
- ✓ 中間配当、期末配当予想の増配を決議

2026年3月期 第2四半期業績の状況(対前期比)

	前第2四半期		当第2四半期		(単位:百万円) 前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	3,829	100.0%	3,921	100.0%	92	2.4%
売上総利益	1,146	30.0%	1,385	35.3%	238	20.8%
営業利益	150	3.9%	398	10.2%	247	164.5%
経常利益	146	3.8%	398	10.2%	251	171.1%
親会社株主に帰属する中間純利益	108	2.8%	261	6.7%	153	142.1%

> 結果

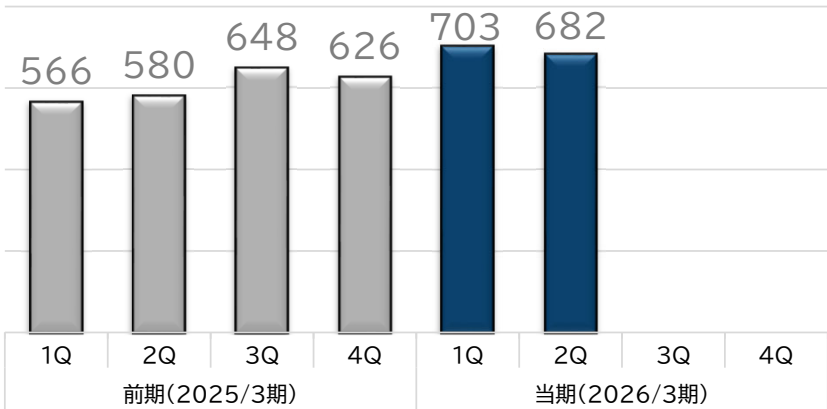
◆ 各段階利益は前年を大きく上回り推移

> 要因

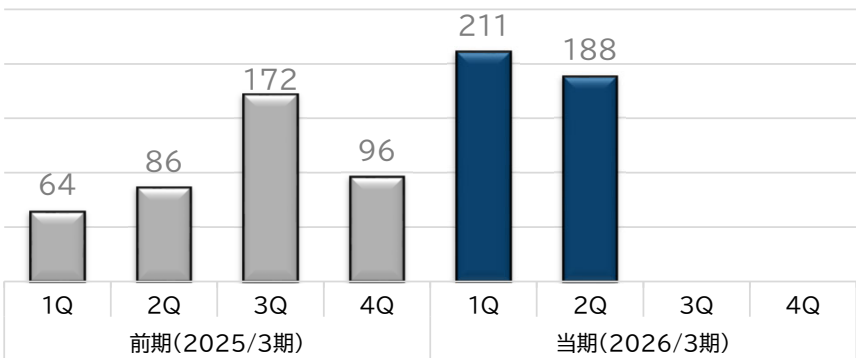
- ◆ ガイドラインに則った集客に貢献する広告、サービスが市場に浸透しマージンが改善
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は堅調に推移

四半期 売上総利益・営業利益の状況(対前期比)

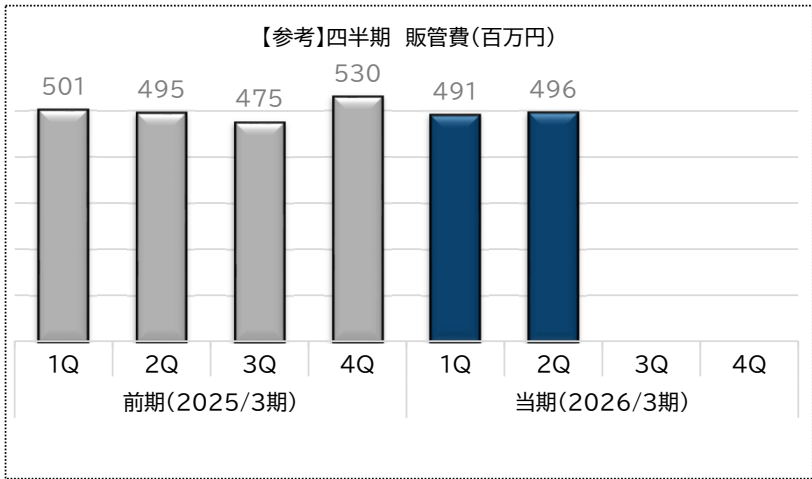
四半期 売上総利益(百万円)



四半期 営業利益(百万円)



【参考】四半期 販管費(百万円)



- ◆ 売上総利益、営業利益は大きく伸張
- ◆ 販売費及び一般管理費は安定して推移

事業の種類別セグメントの状況

【当累計期間】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円) 連結
売上高	3,851	70	－	－	3,921
セグメント利益	501	36	－	-140	398

【前年同期比】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円) 連結
売上高	+51	+43	-3	－	+92
セグメント利益	+221	+28	+1	-4	+247

- ◆ 各種取組みが奏功し、広告事業は前年を上回り推移
- ◆ 不動産事業は第1四半期に大型の宅地建物取引手数料案件の計上もあり、前年を大きく上回り推移

セグメント損益(広告事業)

広告事業	(単位:百万円)			
	前年同期比			
	前第2四半期	当第2四半期	増減額	増減率
売上高	3,799	3,851	+51	+1.4%
セグメント利益	280	501	+221	+78.9%

外部環境>

- ◆ パチンコホール施設:
 - ・スマート遊技機の普及や遊技性の多様化により業界活性化に期待
 - ・業界タレント等の来店プロモーション企画や、インターネット広告の需要は増加傾向
 - ・折込広告等、取扱高の大きい紙媒体広告の需要は大きく減少
 - ・2025年5月にパチンコ業界4団体から発出された「広告宣伝ガイドライン第三版」により、広告手法や集客支援の実施可能な範囲が明確化
- ◆ パチンコホール以外の広告分野:
 - ・広告需要は増加基調

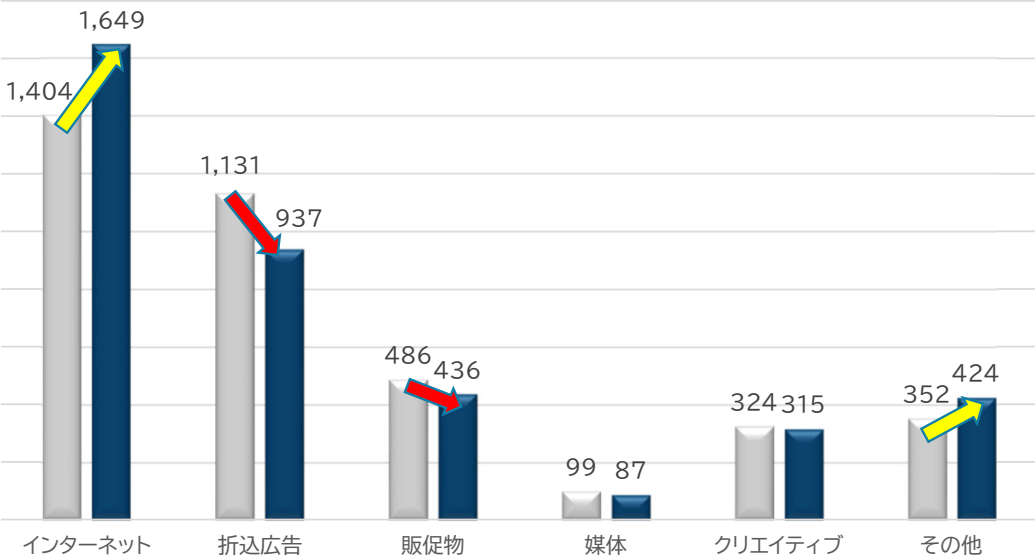
当社グループの取り組み>

- ◆ ガイドラインに則った集客支援広告、サービスの開発、拡販
- ◆ DSP広告や、自社保有サイト「パチ7」のオリジナルサービス等のマージンの高いサービスの販売に注力
- ◆ 広告需要の伸びが期待されるセクターにおける顧客開拓をより積極的に推進

品目別売上高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

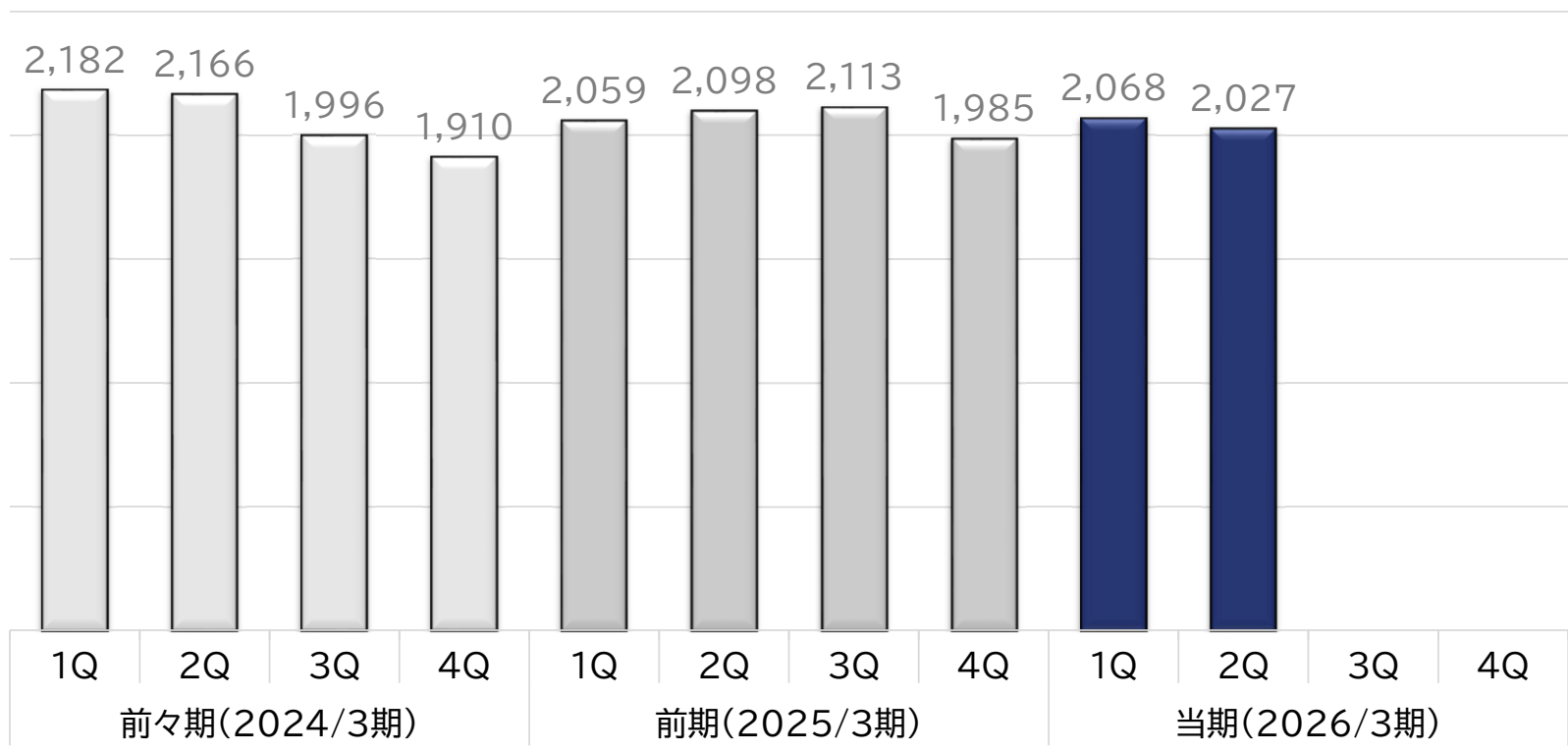
	前第2四半期		当第2四半期		前年同期比		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	構成比変動
インターネット	1,404	37.0%	1,649	42.8%	245	17.5%	5.9 pt
折込広告	1,131	29.8%	937	24.3%	-194	-17.2%	-5.4 pt
販促物	486	12.8%	436	11.3%	-50	-10.4%	-1.5 pt
媒体	99	2.6%	87	2.3%	-11	-12.0%	-0.3 pt
クリエイティブ	324	8.5%	315	8.2%	-8	-2.6%	-0.3 pt
その他	352	9.3%	424	11.0%	71	20.4%	1.7 pt
合計	3,799	100.0%	3,851	100.0%	51	1.4%	



- ◆ インターネット広告は回復基調にあり、前年同期を大幅に上回る
- ◆ 紙媒体は引き続き減少トレンド
- ◆ その他はデザイン生成AIツールの販売や大型のスポット案件計上により増加

【参考】四半期総取扱高の推移(広告事業)

広告事業 四半期総取扱高の推移(百万円)

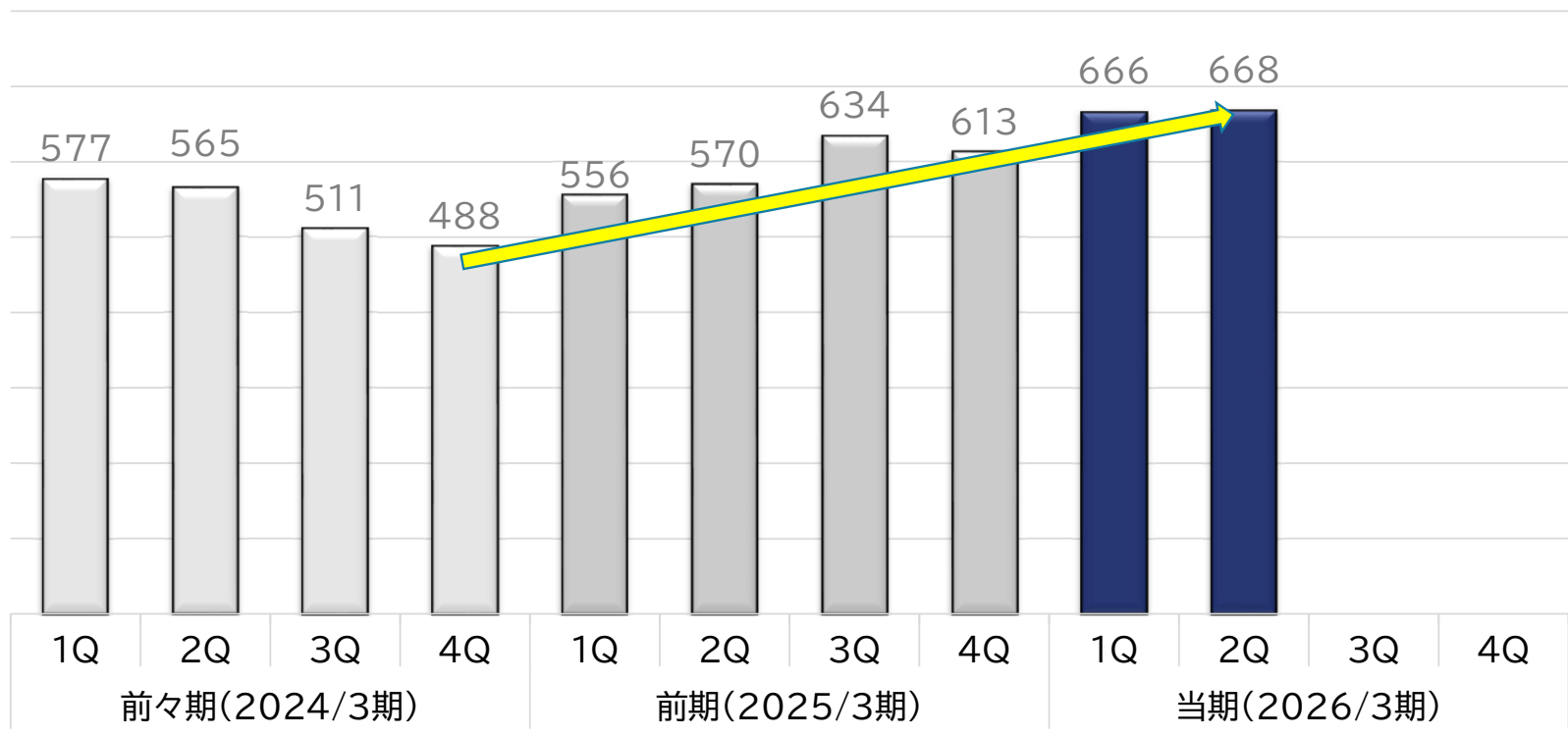


※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

◆ 媒体等の代理人取引の減少により、総取扱高は前年同期と比較し微減

【参考】四半期売上総利益の推移(広告事業)

広告事業 四半期売上総利益の推移(百万円)



◆ 紙媒体広告からインターネット広告へのシフトが進み、売上総利益は上昇傾向

【参考】業種別総取扱高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

	前第2四半期		当第2四半期		差異	
	金額	構成比	金額	構成比	差異額	増減率
パチンコホール広告分野	2,334	56.1%	2,204	53.8%	-130	-5.6%
パチンコホール以外の広告分野	1,823	43.9%	1,891	46.2%	68	3.7%
合計	4,157	100.0%	4,095	100.0%	-62	-1.5%

※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

前第2四半期



当第2四半期

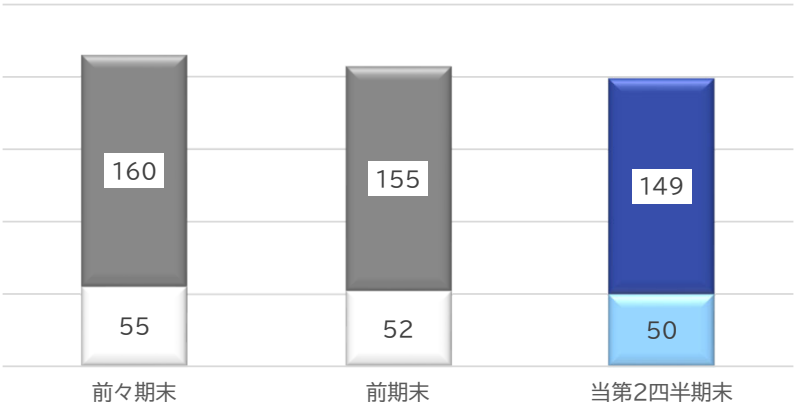


- ◆ 紙媒体広告からインターネット広告のシフトもあり、取扱高は減少
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は引き続き順調に増加

従業員の状況

	(単位:人)			
	前々期末	前期末	当第2四半期末	前期比増減
営業・管理【販管費】	160	155	149	-6
クリエイティブ【売上原価】	55	52	50	-2
広告事業計	215	207	199	-8

広告事業 人員数の推移(人)



- ◆ 営業・管理 :新規採用の抑制
- ◆ クリエイティブ:紙媒体広告需要の減少により採用を抑制
- ◆ 下期以降は積極的な採用を計画

セグメント損益(不動産事業)

不動産事業	前第2四半期	当第2四半期	(単位:百万円)	
			前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	26	70	+43	+168.4%
セグメント利益	7	36	+28	+374.8%

- ◆ 所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益のほか、大型の宅地建物取引手数料や賃貸物件の仲介等に伴う手数料収益44百万円を計上
- ◆ 結果、売上高は70百万円(前年同期比168.4%増)
セグメント利益は36百万円(前年同期比374.8%増)

連結貸借対照表

	前期末 (A)	当第2四半期末 (B)	(単位:百万円) 差額 (B)-(A)
現金及び預金	3,693	3,122	-570
売上債権	972	923	-48
その他流動資産	55	61	5
有形・無形固定資産	695	682	-13
繰延税金資産	44	18	-26
投資その他資産	284	386	101
資産合計	5,746	5,194	-551
買掛金	496	454	-41
短期・長期借入金	675	593	-81
未払法人税等	67	121	54
その他の負債	306	208	-97
負債合計	1,545	1,378	-166
株主資本	4,205	3,817	-387
その他	-3	-1	1
純資産合計	4,201	3,816	-385
負債・純資産合計	5,746	5,194	-551

.....→ 利益配当、自己株式取得による減少

.....→ {
 ・当中間純利益+261百万円
 ・前期決算に係る期末配当△123百万円
 ・自己株式取得△526百万円

連結キャッシュフロー

	前第2四半期	(単位:百万円) 当第2四半期
税引前利益	146	400
営業活動によるキャッシュ・フロー	195	289
投資活動によるキャッシュ・フロー	-11	-129
財務活動によるキャッシュ・フロー	-104	-730
現金及び現金同等物の期首残高	3,431	3,687
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,510	3,116

◆ 現金及び現金同等物は当中間連結会計期間において570百万円減少

+ 税引前利益	400	
+ 減価償却費	25	
+ 売上債権の増減額	47	
+ その他	23	
		— 仕入債務の増減額 41
		— 法人税等の支払額 59
		— その他 106
営業活動によるキャッシュ・フロー	289	
+ その他収入	5	
		— 有形/無形固定資産の取得による支出 32
		— 投資有価証券の取得により支出 102
投資活動によるキャッシュ・フロー	129	
+ 長期借入による収入	200	
		— 借入金返済による支出 281
		— 自己株式取得による支出 526
		— 配当金の支払額 123
財務活動によるキャッシュ・フロー	730	

連結業績予想の修正と進捗状況

(単位:百万円)

	当第2四半期実績 (A)	通期予想(B) ※2025年4月18日発表	通期予想(C) ※2025年10月17日発表	増減額(D) (C)－(B)	増減率 (D)÷(B)	進捗率 (A)÷(C)
売上高	3,921	7,800	7,800	－	－	50.3%
営業利益	398	550	750	200	36.4%	53.1%
経常利益	398	550	750	200	36.4%	53.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	261	370	500	130	35.1%	52.4%

◆ 売上高については、取扱高が大きい紙媒体は当初予想より大幅に減少しているものの、主としてインターネット広告等が当初計画を上回り推移しているため、全体では従来予想通りとなる見込みです。

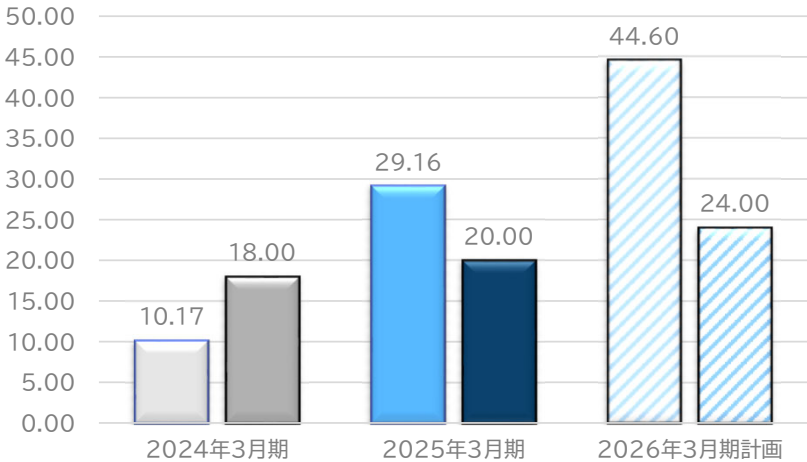
◆ 営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、紙媒体と比較し、マージンの高いサービスやインターネット広告の販売が好調であることから、売上総利益が増加しているため、それぞれ上方修正いたしました。

株主還元について

		2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期計画
連結EPS	円	10.17	29.16	44.60
年間配当金	円	18.00	20.00	24.00
(うち中間配当)	円	(9.00)	(10.00)	(12.00)
配当性向	%	177.0%	68.6%	53.8%
DOE(株主資本配当率)	%	5.2%	5.9%	約6.7%(予想)
配当総額	百万円	213	233	255
※ 配当総額は期中支払額				
期中自己株式取得額	百万円	218	—	526
期中取得自己株式数	株	499,700	—	1,300,000
期末発行済株式総数	株	12,300,000	12,300,000	12,300,000

※ EPS、配当金及び期末発行済株式総数は、自己株式の取得の影響を考慮しております

EPSと配当金の推移



【株主還元に関する基本方針】

- ・DOE6%と配当性向50%で算定される金額のうち、いずれか高い方を一定の目安として配当を実施
- ・資本効率の向上を重視し、適切なタイミングにおいて自己株式を取得

◆ 中間配当及び期末配当予想の増配を決議

当期の業績予想を修正した結果、当期においては、期末配当性向50%が、期末DOE6%を上回る見込みとなったことから、予想配当性向50%を目安といたします。これにより中間配当及び期末配当予想を増額し、それぞれ12円といたします。
(前回予想:中間配当10円 期末配当11円 合計21円)

結果、年間配当金は、1株につき合計24円(予想配当性向53.8%)となります。

自己株式の取得状況及び終了に関して

◆2025年4月18日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による当社定款の定めに基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、取得いたしました。なお、2025年9月8日に買付上限株数に達したため、本決議に基づく自己株式の取得は終了いたしました

1. 自己株式取得を行う理由

資本効率の改善が、株主価値の増大に寄与すると判断したため、自己株式を取得するものであります。

2. 取得に係る事項の内容

- (1)取得対象株式の種類 当社普通株式
- (2)取得し得る株式の総数 1,300,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合10.57%)
- (3)株式の取得価額の総額 550,000,000円(上限)
- (4)取得期間 2025年4月21日から2026年3月19日まで
- (5)取得方法 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)を含む市場買付

3. 上記に基づきこれまで取得した自己株式の累計(2025年9月30日現在)

- ・買付株式数 1,300,000株
- ・買付総額 526,155,200円

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 管理部

URL. <https://www.gendai-a.co.jp/ir/contact/index.php>

Tel. 03-5358-3334

